

No. 390 第二次世界大戦

☆39-01 ヨーロッパ戦線

■ ヨーロッパ

1939. 3 ドイツ、ダンツィヒ・ポーランド回廊の割譲要求
- 8 **独ソ不可侵条約** (8. 23) → **世界中に激震が走る 秘密議定書もあり**
英仏-ポーランド相互援助条約 (8. 24)
- 9 **ドイツ、ポーランド侵攻** (9. 1) = **第二次世界大戦開始**
大戦初戦…独軍は**電撃戦**により圧倒的優勢
英仏、対独宣戦布告 (9. 3) → “奇妙な戦争” (phony フォニー war / strange war)
1939. 9~40. 4
- ソ連、ポーランド侵攻** (9. 17)
ソ連、バルト三国に進駐 (バルト3国 = ラトビア・エストニア・リトアニア)
後にソ連に併合…現在、CISにバルト三国は未加盟
- 11 **ソ連-フィンランド戦争** (~40. 3)
- 12 **国際連盟、ソ連を除名**
1940. 4 **ドイツ、デンマーク・ノルウェー侵攻**
- 5 **ドイツ、オランダ(永世中立)・ベルギーへ侵攻**
ドイツ、フランス侵攻 仏軍のマジノ線…無効化
またも電撃戦が有効…大戦前半は電撃戦により、ドイツ圧倒的有利
N=チェンバレン内閣辞任 (宥和政策の責任を取る)
チャーチル挙国一致内閣成立 (1940. 5~45. 7)
英仏軍、**ダンケルク撤退** (~40. 6)
- 6 **イタリア、参戦** (6. 10)
パリ陥落 (6. 14)
自由フランス政府 in ロンドン **D=ゴール** 将軍
英 BBC 放送を通じて、レジスタンス運動を支援
- 7 **ヴィシー政府** 親独政権成立 仏南半分を統治 首班 **ペタン**
cf. ペタンは WW I で救国の英雄となったが、WW II では、ヒトラーの
傀儡政権ヴィシー政府の首班となり、大戦後、獄死した
- Battle of Britain 英独の航空戦
チャーチルの指導力で乗り切る
独空軍の技術的劣勢も要因
- 9 **日独伊三国軍事同盟、枢軸国 vs. 連合国**
- 11 ハンガリー・ルーマニア枢軸国側 (同盟国側) 参加

バトルオブブリテンにおけるチャーチルの演説

we shall defend our Island, whatever the cost may be, we shall fight on the beaches, we shall fight on the landing grounds, we shall fight in the fields and in the streets, we shall fight in the hills; we shall never surrender

我らは祖国を護る。浜辺で、滑走路で、野原や街路で、丘陵で我らは戦い、断じて降伏しない。



ゆげ塾の『構造がわかる世界史』より

1941. 3 ブルガリア枢軸国側（同盟国側）参加

アメリカ、**武器貸与法**成立 ～民主主義の兵器廠（^{しょう} 廠＝工場の古い表現）

4 **日ソ中立条約**

ドイツ軍がイタリアの救援要請に応じ、ユーゴスラビア・ギリシア侵攻

バルカン制圧→テイトー指導下で対ナチスゲリラ戦を展開…**パルチザン闘争**

6 **独ソ戦争開始**（6. 22）

1941年6月22日、ドイツ軍はバルト海からカルパティア山脈に至る全戦線で一斉にソ連領に侵入した。

118個歩兵師団、15個機械化師団、19個戦車師団、将兵300万人、戦車3600台、航空機2700機で、

ドイツ陸軍の75%、空軍の60%にあたる。

8 **大西洋上会談** フランクリン＝ローズヴェルト・チャーチル

戦争目的の位置づけ、戦後の平和構想、「**大西洋憲章**」（内容は後詳 *時期のみ確認*）

12 **ドイツ、モスクワ作戦停止、撤退開始**

独伊の対米戦開始 41年12月8日（日本時間）…**真珠湾攻撃**

1942. 5 **英ソ相互援助条約**（英ソ軍事同盟、41. 7の英ソ相互援助条約を強化）

8 **スターリングラード攻防戦**（～43. 2）独軍主力部隊壊滅

現ボルゴグラード 工業都市 バクー油田とのルート確保 ボルゴ川の掌握

11 **米英、北アフリカ上陸作戦**

1943. 1 **カサブランカ会談** F＝ローズヴェルト・チャーチル

ヨーロッパ進攻をシチリア島とイタリア本土上陸作戦から開始する

6 **コミンテルン（第3インターナショナル）解散**

7 **連合軍、シチリア島上陸**

9 **イタリア、無条件降伏** バドリオ政権成立、ムッソリーニ政権崩壊

11 **カイロ会談** F＝ローズヴェルト・チャーチル・蔣介石

対日処理方針の決定、「**カイロ宣言**」…敗戦後の日本の領土確定

テヘラン会談 F＝ローズヴェルト・チャーチル・スターリン

第二戦線の決定

1944. 6 **ノルマンディー上陸作戦**（6. 6）連合軍最高司令官アイゼンハウアー

8 **パリ解放**

1945. 2 **ヤルタ会談** F＝ローズヴェルト・チャーチル・スターリン

ドイツの戦後処理、ソ連の対日参戦、「**ヤルタ協定**」

5 **ベルリン陥落**→**ドイツ無条件降伏**（5月8日欧州戦勝記念日）

ヴォルガの背後に我らが土地なし
(スターリングラードの第62軍のスローガン)

よかった点

早押しがもつあがり チーム意識が芽生えた!!

悪かった点

外歩きの相手がほとんど「答えられず」問題も一問一答やのっているものが、
少ない。

☆39-02 太平洋戦争

■ アジア・太平洋

1939 (昭和 14) ノモンハン事件

「満州国」とモンゴルの国境ノモンハン付近で起こった日ソの大規模な武力衝突
→ 日ソ両軍共に脅威を感じ、日ソ中立条約の布石となる

1940. “大東亜共栄圏” 構想 (第 2 次近衛内閣が発表) …既習済み

日本を盟主とする東アジアの経済・政治・軍事ブロック構想
実質的な大日本帝国による東・東南アジア支配をめざす

北部**仏領インドシナ** (北部仏印) **侵攻 (進駐)** … 陸軍 … **太平洋戦争前!!**

日独伊三国軍事同盟

1941. **日米交渉** … 近衛文麿首相は対米戦回避を目指す

ハル国務長官は中国からの撤退を要求

日ソ中立条約 … 松岡洋右外務大臣

南部**仏印侵攻 (進駐)** … 陸軍 … **太平洋戦争前!!**

ABCDライン形成 (米・英・中・蘭) アメリカは石油を対日全面禁輸
東条英機内閣

真珠湾攻撃 (12. 8) 現地時間 12 月 7 日 日曜日早朝 **太平洋戦争**開始

マレー半島上陸 →シンガポールへ進撃開始 香港占領

英東洋艦隊壊滅 米領グアム占領

1942. 夏まで

マレー半島東端であるシンガポール占領

ジャワ・スマトラ占領 パレンバン油田占領

ビルマ・フィリピン占領

マッカーサーはフィリピン脱出 “I shall return” (必ずや私は戻って来るだろう)

→日本は東南アジアの広い地域で軍政を敷き、その過酷さから抗日戦が展開

…別セクションで詳しく

中国 日本軍の三光作戦 **八路軍・新四軍**(共産党軍)の抵抗

朝鮮 朝鮮人民革命軍 (**金日成**) の抗日パルチザン闘争

フィリピン フクバラハップ (フク団) の抗日ゲリラ闘争

ヴェトナム ヴェトナム独立同盟 (1941、**ヴェトミン**、**ホー=チ=ミン**) の
抗日武装闘争

ビルマ 反ファシスト人民自由連盟(1944、**A F P F L**、**アウン=サン**)の
抗日武装闘争

真珠湾攻撃に参加し、ミッドウェー海戦
で沈んだ空母赤城

航空母艦 aircraft carrier 略して空母
戦闘機や攻撃機の離着陸が可能

太平洋開戦当時の空母戦力比（基本的に正規空母） …ワシントン体制で既習

日本 10 隻 vs アメリカ太平洋艦隊 3 隻 （大西洋艦隊は 4 隻）

珊瑚海海戦 初の機動艦隊（空母）同士の衝突…ワシントン体制で既習

1942. 6 **ミッドウェー海戦** 日本海軍主力の機動部隊 半減 空母4隻喪失
米軍ガダルカナル上陸
- 8 ソロモン海戦、**ガダルカナル島攻防戦**（～43. 2）
ガダルカナル島は日本軍初めての失地となる cf. ガダルカナル=ガ島=餓島（補給困難）
1943. アッツ島玉砕第一号（玉砕=全滅） キスカ島撤退 …アリューシャン列島
玉砕：玉が美しく砕けるように、名誉や忠義を重んじて、いさぎよく死ぬこと。
太平洋戦争末期、「全滅」という表現を嫌った軍部によって、言い換えとして多用された。

カイロ会談 F=ローズヴェルト・チャーチル・蒋介石 …既習

対日処理方針の決定、「カイロ宣言」

- 1944年7月7日 **サイパン島陥落** グアム陥落 テニアン島陥落
マリアナ沖海戦でも、敗退
マリアナ諸島（サイパン・グアム・テニアン）陥落 → **東条首相辞職**

神風特攻隊出撃 フィリピン（レイテ）沖海戦 … 事実上の最終決戦
マッカーサーはフィリピンに上陸成功 後にマニラ奪還戦

1945. 2 **ヤルタ会談** F=ローズヴェルト・チャーチル・スターリン
ソ連の対日参戦決定（ドイツ降伏後3ヶ月後 5月8日独降伏）
（5月8日欧州戦勝記念日）ジャスト3ヶ月後 対日参戦
硫黄島へ上陸開始 硫黄島ほぼ陥落（米軍は飛行場奪取し通信施設破壊）
硫黄島の哨戒機能を失う
- 3 東京大空襲（**3. 10**）cf. 311は東日本大震災
3月10日大空襲のみ警視庁調べ 死者8万3793人 負傷者は4万0918人
沖縄戦（3～6）戦艦大和 沖縄へ特攻
- 6 沖縄戦終了（6月23日 平和の日…試験でないけど記憶しましょう）
- 7 原子爆弾実験成功（7月16日・7月中旬でOK マンハッタン計画完成）
ポツダム会議（7～8）トルーマン・チャーチル→アトリー・スターリン
ポツダム宣言（米・英・中）、**日本の無条件降伏を勧告**
- 8 **原爆投下（広島、8. 6）** Little Boy （ウラン型）
ソ連対日参戦布告（**8. 8**） 翌日、満州へ侵攻開始
ヤルタ密約…ソ連の対日参戦（ドイツ降伏後3ヶ月後 5月8日独降伏）
原爆投下（長崎、8. 9） Fat Man （プルトニウム型…後に量産）
無条件降伏 **8. 15** ポツダム宣言受諾を宣言（降伏文書調印は9月）
占守島（しゅむしゅとう）の戦い 8月18日～21日
樺太（からふと・サハリン）の戦い終結 8月25日



マッカーサーフィリピン上陸 “I shall return”

硫黄島の戦い

太平洋戦争の末期、日米軍の間で戦われた島嶼(とうしょ)攻防戦。小笠原(おがさわら)諸島に属する硫黄島は東京とマリアナ米軍基地との中間に位置していたため、米軍はB - 29爆撃機による日本本土空襲の中継基地として、また掩護(えんご)戦闘機隊の出撃基地とするため同島の攻略を企図した。米軍は1945年(昭和20)2月16日同島に対する艦砲射撃を開始し、19日より多数の艦艇と航空兵力の掩護のもとに海兵2個師団の上陸を開始、21日にはさらに一個師団を上陸させた。栗林忠道(くりばやしただみち)中將の指揮する約2万3000人の日本軍守備隊は、島内に無数の地下道を張り巡らし、徹底した陣地持久戦によって抵抗したため、米軍の損害が続出したが、圧倒的な砲爆撃に支えられた米軍の猛攻によって、3月末には日本軍の抵抗は終わりを告げた。対日戦において米軍が反攻に転じて以降、米軍の損害(死傷者数2万5000人)が日本軍のそれを上回った唯一の地上戦闘として有名である。 (C)小学館



占守島(しゅむしゅとう)の戦い
占守島は千島列島最北